

令和4年度 学校経営の方針

1 教育方針

子ども一人一人の人権を重んじ、もっている能力を最大限に生かした愛情に満ちた適切な教育を行い、それぞれの自立と社会参加を目指す。

2 教育目標

拓く ～夢をもち、自らの道を切り拓く、
たくましく生きる児童生徒の育成～

〈具体目標〉

- もっている力を存分に発揮し、主体的に学ぶ児童生徒を育てる
- 思いやりの心をもち、互いに認め合う児童生徒を育てる
- 人と関わり合いながら、地域で豊かに暮らし、社会参加する児童生徒を育てる

3 目指す児童生徒像

- 明るく元気な子 ー心と体を鍛え、笑顔で生活する児童生徒
- 仲良く助け合う子 ー思いやりの心をもち、共に遊び学ぶ児童生徒
- 喜んで働く子 ー挑戦する気持ちをもち、自ら考え、進んで行動する児童生徒

4 本年度の重点

(1) 確かな学力を育てる創意工夫のある授業改善の推進

- ・実態把握と指導目標の適切化、学習評価の改善、効果的な指導体制の検討
- ・学習指導要領の実施状況の確認
- ・ICT機器の効果的な活用
- ・授業研究を支える効果的な校内研修

(2) 学級経営を基盤とした道徳性の育成と生徒指導の徹底

- ・人間関係を築く力を育み、一人一人の心の居場所となる学級経営
- ・基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成
- ・挨拶力と清掃力の向上、時間厳守、礼儀や思いやりの心と相手を尊重する態度の育成

(3) 地域と関わり、地域に貢献する教育活動の推進

- ・直接的または間接的な交流及び共同学習の実施
- ・障害理解授業や居住地校交流、学校間交流等の計画的で効果的な実施
- ・人・もの・場所などの地域資源の積極的活用
- ・ホームページの更新と積極的な情報発信

(4) 寄宿舎の機能を生かした生活指導の充実

- ・寄宿舎生による自治会活動の活性化
- ・一人一人の課題解決に向けた計画的・系統的な生活指導の徹底
- ・寄宿舎生の自主・自立と社会参加に向けた寄宿舎指導員の研修の実施
- ・児童生徒の生活習慣の確立に向けた寄宿舎の機能を生かした生活体験の実施